

部会活動報告

環境福祉部会

神明行事を学ぶ

1月18日（火）沢山の地域の皆さんに協力をいただき、風早小学校の児童たちと神明造りを行いました。

地域により様々な造り方の違いに翻弄されながら、ようやく完成しました。

皆さんが『健康に過ごされれば』と言う思いで造りました。



フラワーロード事業

3月8日（火）小学5年生とフラワーロードの花の植え替えを行いました。

花の種類が春めいてきました。

道を通る人達に季節感をお届けできるといいです。



高齢者一人世帯への絵手紙プレゼント

3月3日（木）小学6年生が自分たちが絵手紙・額を製作した物をプレゼントしました。

大変喜んでいただき、中には学校へ御礼の手紙まで頂きました。子ども達も感動していました。

そば打ち体験を通して地域交流

3月3日（木）小学6年生と「そば打ち感謝パーティー」を行いました。

校長先生のそば打ちの説明に始まり、地域の方と子ども達が9班に分かれて、そばの生地を作りました。



子ども達は慣れない手つきで悪戦苦闘していましたが、地域の方々の助けもあり、そばが打ちあがりしました。後半には、児童から感謝の言葉と歌のプレゼントをいただきました。

散乱ごみ清掃活動

風早自治会の散乱ごみ収集を今年度も2回行いました。

おかげでゴミのないきれいな地域になりました。

これからも【ポイ捨てゼロ】を目標にして散乱ごみのない、美しく気持ちの良い地域づくりへの目標達成に向けて多数の皆様が参加してくださいますようお願いします。



開催日	参加人数	可燃ごみ	不燃ごみ	有害ごみ
11月21日（日）	150名	144kg	165kg	1袋
3月13日（日）	130名	168kg	93kg	1袋

「ふれあい弁当」サービス

12月9日（木）と3月17日（木）に、77歳以上のお年寄りだけの世帯（12月は121世帯163人、3月は126世帯176人）に『ふれあい弁当』をつくり、訪問サービスを行いました。

調理は女性会が受け持ち、訪問サービスは民生・児童委員と在宅高齢者見守り協力員が担当区域内のお家を訪問し、弁当を手渡しました。



教育文化部会

メタセコイヤ文化祭 12月12日(日)~14日(火)

今年は「みんな集まれ早田原 大きく広がれ 友達の輪」をテーマに開催しました。

実行委員会の中で今年のキーワードとして挙げたのが、「早田原」。ご存知の方も多いと思いますが、古くは「早田原村」として、風早、大田、小松原は、一つの村だったんですね。その大田、小松原の2校が今年で閉校となり、来年度からは風早小学校と統合となることから、挙げたキーワードでした。

当日は、オープニングセレモニーでの3校の校歌合唱、風船とぼし（風船を受け取った尾道の方が、翌日、文化祭を見に来てくれました。）、バザー、チャレンジ王（担当の6年生が各コーナーを盛り上げてくれました。）、そして、思いを表現したイルミネーション点灯（今年は大田、小松原の児童にも点灯スイッチを入れてもらいました。）と大歓声のうちに初日を終わりました。



翌日からの、展示会では、風早幼稚園、風早保育所、そして多くの児童、地域の方に力作を展示いただき、会場内に設営したお茶席も大好評で3日間の日程を終わりました。

十分に協議を重ね準備し、また多くの方のご協力で開催することができたことを感謝いたします。まだ反省するところもありますので、来年度以降の文化祭に生かすことができれば幸いです。



PTA教育講演会・市民学習会

2月27日（日）風早小学校体育館でPTA教育講演会を開催しました。

東広島市教育委員会「こころの教育総合アドバイザー」竹岡訓子先生を講師に迎え「心の子育て」～やる気を育てる自立と依存～という演題で講演をしていただきました。

竹岡先生は小学校校長を退職された後、不登校・ひきこもり・家庭内暴力などで悩んだり、迷ったりしている親子のカウンセリングを実施し、親子の意欲を取り戻す取り組みをされています。

講演会の中でも竹岡先生が実際に関わった親子の話や、子どもの育ちの土台（目に見えない心の中の部分）作りの大切さ、「しつけ」とは子どもを信じて続ける事など、参考になる話をたくさん聞く事が出来ました。



防災防犯部会

「防災資器材倉庫」を設置

3月27日（日）風早南区集会所横に防災資器材倉庫を設置しました。資器材の明細は下記のとおりです。



品名	数量	品名	数量	品名	数量
メガホン	1	つるはし	1	おの	1
強力ライト	3	ロープ	2	ハンマー	1
ヘルメット	10	2連梯子	1	救急セット	1
消火器	2	布担架	1	救助工具セット	1
スコップ丸	2	のこぎり	1	給水タンク	2
スコップ角	2	パール	1	消火バケツ	5



風早地区の国道185号に 横断歩道・信号機設置を要望

昨年11月のあきつフェスティバルが開催された日に、国道185号の高野川橋西詰を横断していた人が車にはねられ死亡するという痛ましい事故が起きました。

近年、この付近は、病院・薬局などができ、早朝・夕方にはウォーキングをする人が多く、国道を横断する人が多くなりました。しかし、横断歩道や信号機が設置されておらず極めて危険な状態です。

そこで、昨年12月20日に、地元住民225名の署名を添え、交通安全安芸津支部長・風早自治会長・風早向2区長が連名で、東広島警察署長あてに横断歩道や信号機設置の要望書を提出しました。要望書の内容は、高野川西詰付近に横断歩道（地図①）を、クレトイシ工場付近横断歩道に信号機（地図②）を設置してほしいというものです。

225名もの多くの方々にご賛同いただき、ご署名いただきましたことを心よりお礼申し上げます。



風早歴史ものがたり2 「観音浜のうつりかわり」

現在、安芸津市民グラウンドやクレトイシがあるあたりは、江戸時代の終わり頃に築かれ、昭和5年まで製塩が行われた「観音浜」と呼ばれた塩田でした。むかし、塩田であったことを物語るものとしては、築調当時建てられた製塩の神様を祭った塩釜神社（今は鎌倉大明神が祭られている。）が今も残っています。

天保7年（1836）3月、風早村西脇観音堂（向組の観音堂）の沖を阿賀村の宮尾彦五郎と広村の三右衛門が自費で新開を築きはじめました。3年後の天保10年3月には、総面積約13町（13ha）の新開が完成し、約10町の塩田と3町の田畑ができました。当時すでに安芸津町には、他に7か所（木谷村3塩田、三津村1、小松原村1、風早村2）の塩田ができていましたが、最後に築かれ、一番面積の広い塩田でした。

風早村の人々は、土木工事に雇われ、製塩が始まると塩田従事者として職を得て、さらに、窯を焚くのに必要なまきを売るなどの副業もあって、地元は大いに活況を呈したことでしょう。

新開をつくった功績により彦五郎・三右衛門の二人は、それぞれ5反分の税を免除されました。天保11年には、それを記念して、二人の名前とともに、「拝領永代諸役御免地」と刻まれた石碑を建てました。現在、観音浜の塩釜神社境内に石碑が残っています。（写真）その5反の土地は、その後「御免地」と呼ばれるようになりました。

6軒がこの塩田で製塩を行っていたので、六軒浜とも呼ばれていましたが、築調約100年後の昭和5年（1930）には、国の方針で塩田は廃止となり、その後は、ほとんど利用されず放置されていました。

昭和23年、農林省は、この観音浜塩田跡地を農地にして、食糧を増産するため呉製砥所から買い取りました。昭和28年には、広島県が「安芸津干拓第3工区」の名で、堤防の整備と樋門の改築工事に着工し、昭和38年には29戸が入植して耕作活動を開始しました。

しかし、昭和39年7月、観音浜に国道185号線が開通すると、次第にその姿を変えるようになりました。

旧ルートは、安浦町三津口から北上して女子畑を経て榊山に至るものですが、幅が狭くカーブが多かったので、三津口から瀬戸内海沿いに小松原を経由して観音浜・干拓（南区）を通り榊山に至る



塩釜神社と御免地の石碑

9.5kmの新ルートが計画されました。昭和28年に着工し、昭和39年7月には、安浦町三津口から安芸津町榊山に至る幅員7.5～8.5mの沿岸新ルートが開通しました。

交通の便が良くなると、安芸津町は、観音浜を工場用地として企業誘致を進めました。昭和48年、クレトイシ株式会社が進出を決定し、平成3年、敷地面積約7万㎡、従業員20名の工場が操業を開始しました。昭和61年（1986）4月に、16,748㎡の町民グラウンド（現市民グラウンド）が作られ、そのほか、沿線には住宅・自動車関連工場・薬局・病院なども建つようになりました。

このように、170年前に遠浅を埋め立ててつくられた観音浜塩田は、時を経るにつれ、時代の要請も変化して、塩田、農地さらには工場用地・商業用地へと様変わりをしました。

（記：二宮 康成）



今後の行事予定

「子どもを守る会」児童との顔合わせ会

開催日	平成23年4月14日（木）
時間	14:50～15:20
会場	風早小学校グラウンド ・各部団での自己紹介 ・安全マップの確認

第23回 東広島市民スポーツ大会 陸上の部

開催日	平成23年6月5日（日）
会場	東広島運動公園
種目	フィールド競技・トラック競技



散乱ごみ撲滅キャンペーン

開催日	平成23年6月12日（日）
時間	8:30～（1時間程度）
集合場所	各地区の区長及び衛生推進委員の指示に従ってください。
活動方法	各地区から風早小学校に向かってゴミを分別しながら拾って来てください。
持参品	火ばさみ・手袋・タオルなど。
備考	粗大ゴミや処理困難なゴミは収集しないでください。 家庭ごみは出さないでください。 雨天の場合は中止し、小雨の場合は決行します。